

へんこ
彩色扁壺
※推定／廣作
推定／現代
推定／ペルー中央海岸
推定／20世紀



深鉢(農夫)
※部分的廣作
ナスカ文化、現代
ペルー南海岸
ナスカ中期(後300年頃～
400年頃)、推定／20世紀



ペルー独立200周年 2024
第95回企画展
ペルー南部地域編
器にみる
アンデス世界
PERU BICENTENNIAL 2024 95TH FEATURE EXHIBITION
World Previewed in 1000 Years of Peru



チャリヤドル
ティワナク文化
ボリビア
後500年頃～
1150年頃

陶製ケロ
ティワナク文化
推定／ペルー南高地、
ボリビア
後500年頃～
1150年頃



人面文壺
パラカス文化
ペルー南海岸
パラカス中期(前450年頃～
前300年頃)

木製ケロ(刻文)
インカ帝国
ペルー南高地、ボリビア
後1450年頃～1532年



日本で「古代アンデス」といえば、インカ帝国を思い浮かべる方が多いでしょう。しかし、ペルーとボリビアの一部を含む中央アンデス地帯では、実に多様な古代文化が栄えました。古代アンデスでは紀元前3000年頃から神殿が建設され始めますが、土器が登場するのは紀元前1800年頃と、世界のほかの地域と比べて遅かったことに驚かされます。それにもかかわらず、各地で様々な土器がつくられました。

こうした古代アンデスの土器は、19世紀後半に欧米諸国の博物館や美術館によって考古学的に高く評価されます。これがきっかけとなり「贋作」がつくられるようになりました。そして1950年代に古美術コレクター達によって造形美術としての価値まで付与されると、「贋作」づくりはさらに盛んになりました。

本展は、2021年に開催した第86回企画展「器にみるアンデス世界—ペルー北部地域編—」の続編として開催します。そのため、ペルー南部地域とボリビアにまたがって栄えた古代文化を対象として、土器や木器の真作と「贋作」を同時に展示します。これにより、当時の世界観に触れていただき、それらが現代ペルー社会において古代とは異なる脈絡で再生産されている様子をご覧ください。また、山形大学ナスカ研究所および山形大学附属博物館の協力を得て、ナスカの地上絵に関する最新の研究成果と、同時進行で行われている保護活動の現状についてご紹介します。

本展を通じて、ペルー北部地域とは異なる土器や木器の造形をご堪能いただき、現代ペルー社会における文化財をめぐる実状を感じていただければ幸いです。

関連イベント(当館／要入館券)

記念講演会

ナスカの地上絵と人工知能：
新展開の現地調査をめぐって

【講師】坂井正人氏(山形大学教授)

5/4(土・祝) 13:30～15:00

【会場】地下1階研修室

【定員】100名(当日先着順) 【受講料】700円(入館料含む)

トーク・サンコーカン(講演会)

インカってなに？

【講師】荒田 恵(当館学芸員)

4/24(水) 13:30～15:00

【会場】地下1階研修室

【定員】100名(当日先着順)

同日開催

ペルー産コーヒー
特設カフェ

[1 cup 220円]

13:00～15:30

【会場】2階ホール

ギャラリートーク
(マンデートーク)

全3回(各回別内容)

4/22(月) 5/20(月)

6/3(月)

いずれも12:30～13:20

【会場】企画展示室

体験コーナー

【会場】3階ロビー

地上絵を探せ！

映像コーナー

【会場】3階ロビー

ナスカの地上絵と神殿を
めぐる巡礼
巨大な地上絵の分布規則

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

T 632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

https://www.sankokan.jp/ 天理参考館

アクセス JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分

西名阪天理インターより 南へ約3km

※期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります。

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。
詳細は右記から専用サイトをご覧ください。

天理参考館 寄付のご案内

天理参考館
ウェブサイト

検索

検索

検索

検索

検索

検索

